

NO.	質問内容	回答内容
Q1	競技時間の午前・午後の割り当てはどうなっていますか。	午前 2時間、午後 3時間 日程詳細は公表された日程表を確認してください。
Q2	横板部分のパテについて、全面埋めるのか、5mmの溝は埋めずに残すのか、どちらですか。 パテ埋めしないのであれば左右の横板はクロスを貼りますのですか。	右板の溝、左板の溝および両板の隙間は、パテにより下地調整をしたのちクロス施工します。
Q3	左板(12mm)と右板(9mm)の3mmの厚みはパテで平滑にするのでしょうか。それとも左板と右板の5mmの隙間のみをパテ処理して3mmの段差は巻き込むのでしょうか。 平滑にするのであればメッシュテープや厚みを出す為の部材の使用は可能でしょうか。	12mmの横板、9mmの横板の段差の処理は任意とします。段差の不陸を下地調整して施工するメッシュテープを含み、厚みを出す部材の使用は禁止とします。
Q4	下張り紙の代用石州紙の品名を教えていただくことは可能でしょうか。	品名・鳥羽 4匁 白口
Q5	三角定規は使用不可とありますが、カネ定規(自作差し金)は使用しても大丈夫でしょうか。	既製の差し金は持込み可能ですが、自作は不可とします。
Q6	パテ面を乾燥させる為の送風機を使用したいのですが、電源が取れる場所は、会場にあるのでしょうか。 無ければ、電源バッテリーを持って行き、使用しても大丈夫でしょうか。	会場で電源を取ることができるのはありません。電源バッテリーを持参した場合に限り、送風機の使用を可とします。
Q7	作業板の上で材料を裁断する際に作業板のシナベニヤにキズがついた場合、減点になりますか。作業板の上で短手方向に切る行為が減点に繋がるのでしょうか。	キズと言うよりは木の目方向に切るのが基本です。 縦目に切ることは原則ありません。
Q8	Q5に既製の差金の持ち込みは可能と記載がありますが、作業の際に使用することも可能なのでしょうか。	作業で使うのも可能です。
Q9	自分は背が高く、高さ700mmの作業台を使用していると腰への負担が大きいので、作業板の下にスペーサー(例えばスタイルホームなど)を入れる、もしくはブロックなどを脚の下にかませるなどで高さ調整をすることは可能でしょうか。	可とします。
Q10	作業板にベニヤを足して長さを延長して作業することは可能でしょうか。	付け足しは可能ですが、開始時間後に取り付けるようにしてください。